ホワイトスペース特区 今後の展開

森ビル株式会社 2011年10月14日

■ 複合都市 六本木ヒルズでの活用案

今回の「ホワイトスペース特区」の選定を受け、六本木ヒルズにおいて、地域コミュニティを巻き込んだ情報発信の仕組みを検討しています。

森美術館や展望台、アリーナ等、リアルスペースの「場」を提供するだけではなく、ホワイトスペースを有効に活用し、関係する多くの方々と一緒に魅力溢れる都市づくりの一助となる放送コンテンツの企画を検討しております。

六本木ヒルズで行われるイベントや店舗情報の配信だけでなく、震災時の活用や、また、 エリアの特性でもある外国人コミュニティへの情報発信など、様々な可能性を検討してま いります。

六本木ヒルズの 多彩なアート・文化イベント例



日本唯一の国際映画製作 者連盟公認の国際映画祭 として日本の映画産業、 文化振興に大きな足跡を 残してきました。



アートと出会い、人と 出会い、驚きと出会う。 その夜、六本木の街は 巨大なキャンパスにな ります。「アオキナーナイル2010/08年



"空の世界=眺望"と" 水の世界=アクアリウム"が融け合う幻想的 な空間が広がります。



森美術館が世界各国の 才能豊かな若手アー ティストを応援するプ ロジェクト・シリーズ。

防災面からの活用

ex. 災害時活用



逃げだす街から逃げ込める街へ。 東日本大震災時にも多くの都民 を受け入れた六本木ヒルズにおいて、被災時のホワイトスペー ス活用を試みます。緊急情報の ライブ中継や、各種避難者向け 情報を有事の際や防災訓練時に おいて、提供する予定です。

期間限定イベントでの活用

ex. 東京国際映画祭



六本木ヒルズでは左図に表記したように、催事に応じて様々なイベントの取り組みが繰り広げられます。たとえば「東京国際映画祭」。国内外の多くの有名人が一同に集合するこの取り組みにおいて、ホワイトスペースの活用実験を行います。

定常的イベントでの活用

ex. 森美術館展覧会



六本木ヒルズの最高層階には 日本が世界に誇る、美術館、展 望台、図書館などがあります。 これらの施設イベント内におい て、現代美術の映像提供や、 作家紹介などをホワイトスペース を活用して来訪者に提供するなど も検討しています。

防災面での活用 ~2012年度の震災訓練で実験予定

2012 年3 月に実施する当社の震災訓練において、実証実験を行う予定です。 当社の街づくりにおけるミッションのひとつ「安全・安心」を補完する役割として、 帰宅困難者や被災者に対し、エリア限定放送を用いた、情報提供システムの可能性を探っていきたいと考えています。

■ ホワイトスペース特区 他エリアへの展開予定

当社では、今回認定されたホワイトスペース特区事業についても、街づくりの一端として の活用を目指し、当社の様々な事業エリアでの展開を検討しています。異なる顧客や環 境を持つそれぞれのエリアに合わせたコンテンツを提供し、街(エリア)の魅力や価値の 向上とともに、事業化の可能性を検証してまいります。

<対象エリア> 六本木ヒルズ 表参道ヒルズ、ラフォーレ原宿 宍戸ヒルズ ヴィーナスフォート

スケジュール

※スケジュールは変更になる場合があります。

